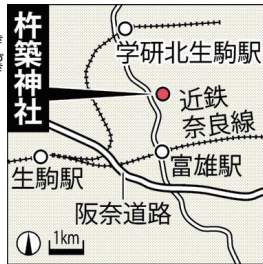




杵築神社 (奈良市)



杵築神社は県内に多数ありますが当社は二名

出雲大社の古名採用

の春日氏（後の小野氏）ゆかりの神社です。富雄川沿いの長い参道、美しく整備された松並木の先に本殿があります。当社は、古くより牛頭天王と呼ばれてきました。敏達天皇の皇子・春日王は蘇我馬子と物部

ありましたが、当社には多数の古名を採用しています。

守屋が仏教導入を巡って戦った587（用明天皇2年、河内国での「丁未の乱」で聖徳太子に従い物部氏を破った功績に対し、富雄一円の地を与えられました。この地に母方の祖神、牛頭天王を祭ったとされています。

明治の神仏分離以降、境内には多くの末社があり、春日神社、大山祇

杵築神社に改称したのち、出雲大社の古名、杵築大社の名を採用したとされています。

境内には多くの末社があり、春日神社、大山祇

明治に廃寺となった東福寺の痕跡が境内に残っています。堂は再建され不動明王像や阿弥陀如来像が安置されています。

10月第2土曜日の例祭には、にぎやかなはやしと共に行われます。

（住所）奈良市二名平野2の2097

（祭神）素戔嗚命、大国主命、市杵島姫命

（交通）近鉄富雄駅からバス「杵築」

橋「下車すぐ」

（拝観）境内自由

（駐車場）あり（数台、無料）
（電話）0742・43・8647

（奈良まほろばソムリエの会会員 徳南毅一）